

定例会会議で一般質問



早生樹のバイオマス燃料利用について

質問

木質バイオマス発電の燃料は、将来の不足が予想される中、松阪市内の発電所では、燃料確保と二酸化炭素の吸収源として、成長の早い柳根竹（やなぎもとだけ）の植栽が始まっている。

柳根竹は、世界初の新素材の樹木で、林地造成が容易で成長も早く五年程で高さが約八、五m、幹の直径は約二〇cmを超



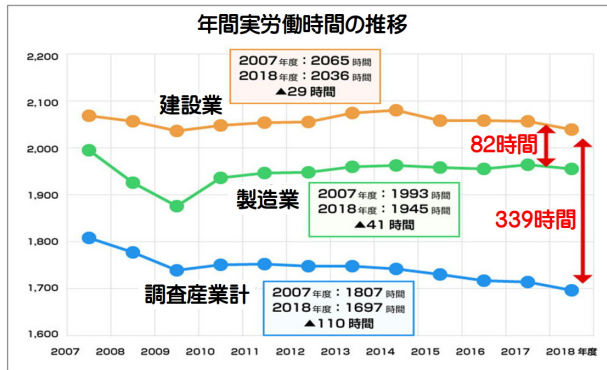
える太さに成長することから、短期伐採が可能となり、地域の林業経済に大変期待が持てる。

中山間部の荒廃農地の発生防止・解消、雇用の創出のために、「柳根竹」を推進してはどうか。

農林水産部長

中山間地域の荒廃農地を有効利用していくことは重要である。早生樹の植林場所としての活用も一つの手法と考える。

建設業の労働環境の改善について



質問

「建設業における働き方改革の概要」によると、二〇一八年の建設業労働者の就業時間は二〇三六時間と全産業の平均より

農地転用のニーズが高まってきた場合には市町の農業委員会と連携を図りながら、農地の有効利用に努める。

また、早生樹の活用を検討する際には技術的なサポートを行っていく。

約三〇〇時間以上も多い結果となっている。

建設業界においては、職場環境の改善を目的とする働き方改革が二〇二四年から適用されるが、三重県は建設産業に係る労働環境の改善に向け、どのような取組を行っているのか。

県土整備部理事

働き方改革の視点を踏まえて、長時間労働の是正と週休二日制工事の拡大、施工時期の平準化などの取組を進めている。

施工時期については、年度当初の工事が少なく、年度末の工事が多い状況にあることから、県では平準化率八〇%を目指し

て取組を進めている。

週休二日制導入や長時間労働の是正につながる施工時期の平準化を通じ建設業の労働環境改善に向けて、関係団体との意見交換を行いながら、着実に進めていく。

意見

総合評価方式は「時間外労働の上限規制」の妨げとなっている。

発注者側は、技術審査に時間を要することから、総合評価方式の工事が増加した場合、負担は更に大きくなる。

受注者側においても点数で評価されるため、品質管理や工程管理、その他全般の管理書類の作成等に、必要以上の労力と時間を費やしていることから、工事成績や工事実績への過度な評価の緩和や事務の簡素化が望まれる。

